

## 静岡県社会体育施設指定管理者評価委員会による評価結果

令和元年 11 月 6 日

静岡県文化・観光部スポーツ局スポーツ振興課

### 1 趣旨

静岡県立水泳場、静岡県富士水泳場及び静岡県武道館については、平成25年度から第3期となる指定管理者による管理運営が行われています。

施設名	指定管理者	指定期間
静岡県立水泳場	静岡県体育協会グループ	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
静岡県富士水泳場	静岡県富士水泳場マネジメントグループ	
静岡県武道館	静岡県体育協会グループ	

これらの施設における管理運営が、利用者サービスの向上と管理経費の縮減という指定管理者制度の目的を達成しているか、また、公の施設として条例に掲げる設置目的の達成に貢献しているか等について、客観的な評価を行うため、第三者の委員からなる評価委員会を設置し、委員会による評価を行いました。

### 2 評価委員会の実施について

施設名	実施日	内容
静岡県立水泳場	令和元年6月27日	指定管理者による事業実績説明
静岡県富士水泳場		質疑応答 指定管理者による事業実績説明について質疑応答
静岡県武道館		意見交換及び評価 意見交換後、委員ごとに評価を実施 評価・講評 委員会としての評価の決定及び各委員からの講評

(評価委員会) ◎=委員長、○=委員長代理

氏名	所属・役職
佐藤 克昭◎	佐藤経済研究所所長、浜松学院大学元教授
川口 良子○	合同会社 デザイン・アープ 代表
鈴木宇多子	静岡県スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
前田 恭伸	静岡大学工学部教授 (事業開発マネジメント系)
村田 真一	静岡大学教育学部講師 (保健体育系)

### 3 評価について

以下の「評価の視点」「評価項目」に基づき評価を行いました。

評価の視点	評価項目		配点
○施設の管理運営を適切に行っているか ○競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興に寄与しているか	①	経営管理	20
	②	管理運営体制	20
	③	利用者サービスの向上	20
	④	危機管理体制等	20
	⑤	求められる業務水準	20
計			100

### 4 評価結果について

評価区分は、「優」「良」「可」「要改善」の4段階で、各委員の採点の平均点に基づき決定しました。総合評価は各評価項目の得点の合計により決定しました。

施設名	静岡県立水泳場						
指定管理者名	静岡県体育協会グループ						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	17	18	18	17	18
		評価区分	優	優	優	優	優
内 容							
主な評価点：良いと評価した取り組み等 提言：改善や一層の努力を求めたい点等							
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費を中心に経費節減に努め、適切な組織体制により安定した管理運営が行われている。</li> <li>一般利用者数は増加しており、満足度も総じて高い。またリスク管理体制が著しく改善された。</li> </ul>						
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者収入の減少に対して、合宿誘致や利用者の望む自主事業の工夫など、積極的な改善策を期待したい。</li> <li>更なる競技力の向上等に向けて、柱となる指導者の養成に一層注力した取り組みが望まれる。</li> </ul>						

施設名	静岡県富士水泳場						
指定管理者名	静岡ビル保善株式会社						
評価	総合			優			
	評価項目別	評価項目	①	②	③	④	⑤
		得点	16	18	17	18	17
		評価区分	良	優	優	優	優

<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>	
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の順調な増加と収入増が果たされ、満足度も高い水準にあることは十分評価される。</li> <li>・リスク管理が適切に実践され、事故ゼロが継続するなど利用者の安全確保が着実に図られた。</li> </ul>
提 言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支管理において適切な予算計画に基づく実践に努め、収支悪化の改善を図ることが期待される。</li> <li>・タトゥーをした利用者への対応など、不安感の払拭や迷惑を防止する接客サービスの徹底を図られたい。</li> </ul>

施 設 名	静岡県武道館						
指定管理者名	静岡県体育協会グループ						
評 価	総合		優				
	評価項目別	評 価 項 目	①	②	③	④	⑤
		得 点	18	18	18	17	18
		評 価 区 分	優	優	優	優	優
<p>内 容</p> <p>主な評価点：良いと評価した取り組み等</p> <p>提言：改善や一層の努力を求めたい点等</p>							
主な評価点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の活用度が高く、一般利用とともに競技力向上や指導者の養成事業も充実して行われている。</li> <li>・利用者ニーズに応える多様な教室、数多彩な自主事業が展開され、満足度の向上に努めている。</li> </ul>						
提 言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する光熱水費の節減と、経年劣化による特に防水上の保全対策への取り組みを促進されたい。</li> <li>・近隣市町への広報や、ホームページにおける外国人向けの工夫など情報発信の改善を期待したい。</li> </ul>						

(評価区分)

評価区分	基 準	意 味
優	配点の85%以上	大いに評価できる
良	同 70～85%未満	評価できる
可	同 50～70%未満	普通
要改善	同 50%未満	改善を要する

別紙

<発言> ●委員 □指定管理者

【県立水泳場】

●今回いただいた危機管理マニュアルは更新されていたが、昨年度のマニュアルにはすでに廃止されている制度が記載されていた。リスクマネジメントのP D C Aはきちんと実施されているのか。

また、非常災害の対応についてお聞きしたい。近年、大雨・洪水等による被害が問題視されていることから、危機管理マニュアルに取り入れるべきだと思うが、どうか。特に県立水泳場は近くに安倍川があるが、増水・氾濫などの想定はあるのか。

□御指摘のとおり、これまでP D C Aがきちんと実施できていないところがあった。

リスクマネジメントについては、情報共有すること、記録をとること、それを反映させることが重要である。日常点検において異常が判明した際には、きちんと記録をとるとともにその都度、対策を検討している。また、月の初めに打合せを実施し、危機管理に関する情報を共有する場を定期的に設けている。

大雨・洪水の被害についても、指定管理者としても懸念しているところであり、今後、情報収集しながら随時、危機管理マニュアルの更新を行う予定である。

●大会の実施により観客数が増加している。

現在、県大会レベル以上の大会を増やす取組みを行っているか。また、今後、県レベル以上の大会数が増える見込みはあるか。

□県大会レベル以上の大会の誘致は難しいと考える。現在、県大会レベル以上の大会を誘致・実施する上で、障害となっているのが電光掲示板である。供用開始から年数が経過しており、動作不良が発生している。そのため、現状、積極的に大規模な大会の誘致は行えず、合宿利用が主となっている。

●自主事業について、ビーズジュエリー教室の参加者が少なく、実施できなかったということだった。このような文化的な教室の実施というのは難しいかもしれないが、現在行っている教室を年間通じて継続するというのはどうか。

特に7月から8月にかけて、教室を実施していないが、夏休みの子どもたち向けに教室を実施すべきと考えるが、どうか。

□年間を通じた教室の実施のためにはまず、間を空けずに教室等を実施していくべきと考える。自主事業については、教室数、参加者数ともに前年から減少したこともあり、実施方法含め、検討している段階である。

## 【武道館】

●相撲場の利用率が低いとのことだったが、全体的な利用率はどうか。

□トレーニングルームが10割、道場が8割といった利用率となっており、大会や教室等の実施も多く、全体的に利用率は高い。

●利用率が高い中、いかによいサービスを算出するかが課題である。

利用料のうち、市町の減免金額が2倍となった理由はなにか。

□イタリア柔道代表チームによる事前合宿が行われ、ホストタウンが藤枝市となっているためである。

●高齢者の減免についてはどうか。

□高齢者の利用は年々増えており、減免により利用料増につながっていないのが現状である。

（県）利用料については、どの施設でも横並びに減免規定がある。

●何回かコンコース等で雨漏りによる修繕が実施されているが、対策はどうしているのか。

□防水シールに切れ目があり、雨漏りはそこから発生している。応急修繕は行っているものの、近いうちに本格的な修繕が必要。

（県）昨年度、劣化診断を実施しており、全ての施設について修繕計画を策定しているところである。雨漏りについても対象となる。

●リスクマネジメントのPDCAはきちんと実施されているのか。

また、近年、大雨・洪水等による被害が問題視されていることから、危機管理マニュアルに取り入れるべきだと思うが、どうか。

□県立水泳場と同様に、リスクマネジメントのPDCAを実施するような体制を整えている。特に事故については、報告書を作成し、共有することで、同じような事故が起こらないよう徹底していく。

災害時の想定については、指定避難所に指定されていることから、藤枝市と協力する必要があると考える。

●武道館のホームページにカウンターは設置しているのか。どのくらいの人が見ているか。

□月間3,000人くらいである。ホームページについてはカウンター数を増やすためにも、随時更新していく予定である。

●ホームページがスマホ対応となっていない。また、外国人向けに英語対応とする必要があるだろう。

□承知した。

●自主事業について、もっと武道に係る教室をとりいれてもいいのではないか。

□体育協会ならではの事業としたいと考えている。体育協会の寺子屋事業を教室に広げていけたらと思う。

## 【富士水泳場】

- 利用者数は増えているものの、歳入より歳出が増えている。

歳出の増加については、ため、シンコースポーツヘトレーニング機器の保守管理の委託費 400 万円が要因ということだが、今後、売り上げを増やすか、歳出を減らすしかないと考えるが、どうか。

ご指摘の通りである。

歳出を減らすことについては、値引率が下がった電気の契約内容を見直すことにより、光熱水費を抑えることを検討している。収入については、昨年度に比べトレーニング室を利用する方が増えていることから、さらなる利用者増を目指す。

- 危機管理マニュアルについては、適切に更新されている。

近年、大雨・洪水等による被害が問題視されていることから、危機管理マニュアルに取り入れるべきだと思うが、どうか。

富士水泳場は高台に位置しているため、大雨による洪水等の被害は考えにくい。

バス以外に公共交通機関がないため、家に帰れなくなることを想定した上で、防災に備える必要があると考える。なお、車で来る方が多いため、大雨等のときに、どの時点で帰宅を呼びかけるか判断が難しい。

- 利用者からたばこについてのコメントがあったが、禁煙にはなっていないのか。

禁煙にはなっておらず、富士水泳場の入り口付近に灰皿を設置し、喫煙場所としている。

- 子どもの利用もあるため、灰皿は設置せず、全面禁煙とした方がよいと思うが、どうか。

受動喫煙防止条例も制定されたため、今後検討する。

- 自主事業の教室が3ヶ月ごとで終わってしまうため、年間を通じた教室の実施はやってはどうか。夏休みに子供向けの教室を実施してはどうか。

ご指摘の通り、1年を通じて開催することで、一定数の利用者を確保できることから、今後検討したいと思う。

年間では前期・後期で16回の子供向けの教室を実施しているが、今後、数を増やしたいと考えている。また、7月から9月は、夏休みの間だけ参加したいという子どもたちがいるため、スポーツ教室の実施を検討する。

- 収支の状況が厳しいことから、施設のメンテナンスについては長期的にみて、適切な管理をすることが必要と考える。

承知した。